

**製品名: グランザイム B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11740**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GZMB CGL1 CSPB CTLA1 GRB Granzyme B (EC 3.4.21.79;C11;CTLA-1;Cathepsin G-like 1;CTSG1;Cytotoxic T-lymphocyte
別名	proteinase 2;Lymphocyte protease;Fragmentin-2;Granzyme-2;Human lymphocyte protein;HLP;SECT;T-cell serine protease 1-3E)
遺伝子 ID	3002.0
SwissProt ID	P10144
免疫原	ヒトグランザイム B 由来の合成ペプチドポリクローナルアミノ酸範囲: 81-130

**背景**

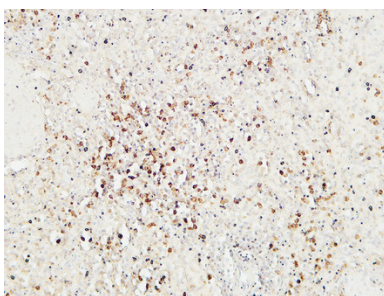
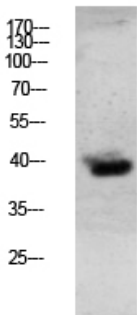
この遺伝子は、セリンプロテアーゼのペプチダーゼ S1 ファミリーに属するグランザイムサブファミリーのタンパク質のメンバーをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、ナチュラルキラー (NK) 細胞と細胞傷害性 T リンパ球 (CTL) によって分泌され、タンパク質分解によって活性プロテアーゼが生成され、標的細胞のアポトーシスを誘導します。このタンパク質はまた、サイトカインを処理し、細胞外マトリックスタンパク質を分解するため、これらの役割は慢性炎症と創傷治癒に関係しています。この遺伝子の発現は、心臓線維症のヒト患者で上昇している可能性があります。[RefSeq 提供、2016 年 9 月],触媒活性: 優先切断: -Asp-|-Xaa- >> -Asn-|-Xaa- > -Met-|-Xaa-, -Ser-|-Xaa-。機能: この酵素は、細胞性免疫応答における標的細胞の溶解に必要です。Asp の後に切断する。アポトーシス誘導に関与するカスパーゼ (アスパラギン酸特異的システインプロテアーゼ) の活性化カスケードに関与していると考えられる。カスパーゼ 3、7、9、10 を切断し、アポトーシスを媒介する活性酵素を産生する。誘導: 末梢血白血球中のブドウ球菌エンテロトキシン A (SEA) による。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。グランザイムサブファミリー。類似性: 1 つのペプチダーゼ S1 ドメインを含む。細胞内局在: 細胞傷害性 T リンパ球およびナチュラルキラー細胞の細胞質顆粒。、

## 研究分野

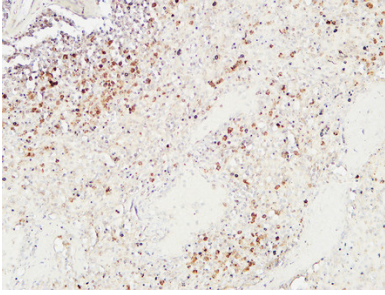
ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性、1 型糖尿病、自己免疫甲状腺疾患、同種移植片拒絶反応、移植片対宿主病。

## 画像データ

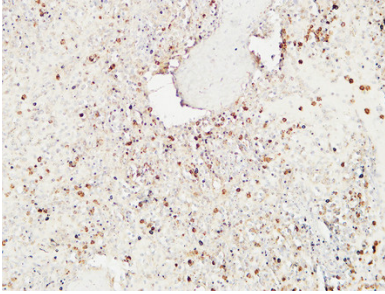
マウス肺ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。